

# 山協ニュース

岩手県山岳協会  
第149号

2006年10月10日発行

## 第61回のじぎく兵庫国体

よくやった！ おめでとう

縦走 少年男子 優勝(初) 成年男子 8位入賞(4年ぶり)

クライミング 少年 決勝進出8チームにあと一步及ばず第9位 成年は33位

今年から夏・秋同時開催となり時期が早まった第61回国民体育大会「のじぎく兵庫国体」は9月30日から兵庫県六甲山地の摩耶山特設コースと神戸ワールド記念ホールで開催された。国体には、成年男子と東北総体で出場権を得た少年男子が出場した。縦走競技で少年男子の高橋良卓選手(盛岡南高)と斎藤大樹選手(盛岡南高)が東北総体の勢いで素晴らしい走り見せ見事初優勝、成年男子も佐々木淳選手と新妻拓弥選手が頑張り4年ぶりに8位入賞を果たした。縦走は、全長6.7キロ、標高差約650メートルのコースだった。クライミング競技には、少年男子は高橋良卓選手(盛岡南高)と長谷川慎平選手(盛岡南高)が出場したが、あと一步で決勝進出8チームに残れず予選第9位であった。成年男子は、亀田みちる選手と佐々木淳選手が出場し予選第33位であった。成年男子の畠山晃監督は「佐々木選手はけがを抱えながらよく走った。新妻選手はコースに対する適応力、筋力が素晴らしい。1年目でこれだけできるとは」と両選手の奮闘をたたえた。また、少年男子の高橋選手は、「練習はつらかったけれど、国体出場の目標があったので頑張ることができた」、斎藤選手は「小さいころから全国大会で活躍するのが夢だった。これまでの人生で一番の経験」と声を弾ませた。(岩手日報より)

来年は国体が隣県の秋田県で開催され縦走競技は、この大会で最後になります。



写真は、岩手日報より

国体の成績は、次のとおりです。

成年男子(クライミングは予選の成績)

少年男子(クライミングは予選の成績)

		県名	得点
縦走	1	神奈川県	100.000
	2	福島県	98.702
	3	兵庫県	97.850
	8	岩手県	93.578
ミクンラガイ	1	愛知県	97.727
	2	千葉県	96.590
	3	宮城県	89.772
	33	岩手県	51.136

		県名	得点
縦走	1	岩手県	100.000
	2	静岡県	93.320
	3	兵庫県	92.557
	4	京都府	91.792
ミクンラガイ	1	栃木県	96.666
	2	佐賀県	88.888
	3	兵庫県	86.666
	9	岩手県	72.222

クライミングは、予選 8 位までが決勝進出

第 3 3 回東北総体 宮城県で開催 県別総合 第 2 位 少年男子 国体出場へ

成年男子 第 1 位 少年男子 第 1 位 成年女子 第 3 位 少年女子 第 3 位

第 3 3 回東北総体は、8 月 2 5 日から 3 日間宮城県で開催されました。1 日目に開会式が遠刈田地区公民館で開かれ式後太野副会長が選手、監督を激励しました。競技は残暑がきびしい中、クライミング競技が第二総合運動場クライミングウォールで、縦走競技は蔵王町えぼし岳で行われました。少年女子の選手は、奈良インターハイが 2 5 日に終了し奈良から宮城に夜をかけて車で移動し早朝現地入りしすぐ競技というハードスケジュールでした。成年男子は、今回で連続 2 2 回出場の大ベテラン畠山晃選手らの活躍でクライミング競技第 2 位、縦走競技第 3 位で総合第 1 位となりました。縦走競技に出場した柴田正男選手は、途中転倒しながらもトップとの差 5 1 秒 7 6 で個人第 3 位と健闘しました。少年男子は、盛岡南高校の 3 選手が意地を見せクライミング競技、縦走競技とも第 1 位、総合でも第 1 位となり 3 年ぶりの国体出場権を得ました。クライミング競技に出場した長谷川慎平選手は、出場選手中最高点まで到達しました。成年女子はベテラン千葉貴子選手が奮闘しましたが、クライミング競技第 3 位、縦走競技第 4 位、総合第 3 位、少年女子は、クライミング競技第 3 位、縦走競技第 3 位、総合第 3 位でそれぞれ国体出場 2 チームの枠に入ることが出来ませんでした。県別総合では、得点 5 4 点で第 2 位になりました。第 1 位は宮城県でした。くわしい成績は、別紙のとおりです。

インターハイ 全国高等学校総合体育大会 奈良県大峰山系などで開催

男子 岩手高校 第 5 位入賞 0.4 ポイント差でメダル届かず 女子 盛岡南 第 16 位

全国高等学校登山大会は、今年で 5 0 回目を迎え記念大会となり奈良県天川村の大峰山系などで開催されました。岩手県からは、男子が岩手高校、女子は盛岡南高校の 2 校が出場しました。成績は、それぞれ昨年と同順位で岩手高校が第 5 位に入賞、盛岡南高が第 1 6 位でした。この大会で高体連の岩澤先生が審判長を務めました。大会後記念式典が開かれ岩手県からは、7 人が出席しました。

## 第42回岩手県高等学校新人登山大会 雫石町網張温泉 三ツ石山で開催

**優勝** 男子A 岩手高 男子B 岩手高B 女子は4年連続 盛岡南

岩手県高等学校新人登山大会が10月5日(木)から7日(土)までの3日間雫石町網張温泉キャンプ場と紅葉が見頃の三ツ石山で男子A隊(学校対抗)に14チーム、男子B隊(チーム対抗)に10チーム、女子C隊に3チームのあわせて27チームが参加して行われました。1日目に登山口から兔平~第3リフト付近までの体力審査やテントの設営審査、天気図の審査などを行いました。2日目は全装備で三ツ石山頂上まで往復する登山行動の予定でしたが、前線上に発達した低気



圧の影響で雨と風が激しくなり大松倉の手前で引き返しました。荒天対策をとり幕営をやめて選手全員網張のスキーセンターに宿泊しました。最終日は暴風雨となりましたが、スキーセンターで閉会式が行われ男子A隊(学校対抗の部)が岩手高校、B隊(チーム対抗の部)が岩手高校B、C隊の女子は盛岡南高校が4年連続で優勝しました。ことしから優勝旗が作られ岩手高校と盛岡南高校に手渡されました。閉会式後、内山達雄先生から「環境について」の講演を約30分間していただきました。選手のみなさんは、大変熱心に聞いていました。

### 第4回常任理事会開催 初冬期講習会、ボルダリング大会などについて協議

第4回常任理事会が9月27日(水)に盛岡市の見前地区公民館で18名が出席して開かれました。工藤会長から今年の協会の行事がピークを超えた、次年度のこととも考えて各部で審議を深めてもらいたいとあいさつがあり、協議に入りました。沢登り講習会、岩手の三山一日踏破、登山教室、岩手山小屋管理、東北総体などの報告がありその後初冬期講習会、ボルダリング大会などについて協議をしました。初冬期講習会、ボルダリング大会については、別紙開催案内のとおりです。また、岩手県民体育大会の少年の部が廃止される方向で検討が進められていますが、山岳競技は高校総体と国体(国体予選・東北総体)で競技が異なるため今まで通り少年の部を実施できますが、縦走競技が来年度で終わり次からは、クライミング競技(リード競技)とボルダリング競技になるため協会としてどのように取り組んでいくか意見が出されました。どのような競技を取り入れるか、参加する高校の数や登録料の問題などさまざまな問題を抱えています。遅くとも今年中には方向性を見出すことになりました。

### 今後の予定

- 10月14日(土)~15日(日) 岩手山小屋終い
- 10月29日(日) 第3回ボルダリング大会 県営運動公園
- 11月8日(水) 第5回常任理事会 見前地区公民館
- 11月17日(金)~19日(日) 指導員会富士山研修
- 12月9日(土)~10日(日) 初冬期講習会 早池峰山